

農園通信

2023年1月・2月

発行・問合せ先：島本町農業振興団体
協議会・町民農園部会 福田

fukuda-ka@amail.plala.or.jp

1月2月の農作業

- ◇葉物(11月、12月に種まきをした小松菜、ホウレンソウ、レタス類、ラディッシュ、菊菜)の寒さ対策⇒不織布やビニールトンネルを掛ける。
- ◇えんどう豆、そら豆に北風を避ける工夫をする。
- ◇ジャガイモ用のうね作り。 ジャガイモの種芋植えは2月、3月。
- ◇人参、小松菜用のうね作り。 人参、小松菜の種まきは3月。

人参作り…○発芽難しい ○5～7cmに間引く ○肥料少な目(肥料が多いと割れる)

人参の栽培は種まきの時期が難しいです。表示の時期は大まかなもので、それぞれの土地によって異なります。周りで植えられているのを参考にしましょう。島本では、夏植えは梅雨の後半か秋雨(台風を含む)の初期、冬植えは2月、3月初期です。冬植えは夏植えより発芽しやすいですが、人参が大きくなった頃(6月)に水が多いと先が腐るので、本格的な梅雨が来る前に収穫を急ぎます。

- ▶1月に石灰、堆肥、肥料を入れてよ～く耕します。未発酵の肥料や耕しが不十分だと股割れします。
- ▶種まきはビニールトンネルで2月に蒔くか、3月初めに蒔きます。種は好光性なので土は薄く掛けます。発芽には特に水分が必要なので、不織布をべた掛けして土が乾かないように注意します。

テントウムシ、クサカゲロウはアブラムシを食べる大食漢！

アブラムシは数ミリの小さな虫ですが繁殖力がすごく、多勢に無勢で野菜から栄養分を吸引する厄介な害虫です。

◇アブラムシ対策1 アブラムシは湿気(水)が好きで、風(乾燥)が嫌い。なので、水やりは野菜に掛けずに土に適量やる。風通しを良くして湿気ないようにする。

◇アブラムシ対策2 アブラムシは弱っている野菜につくので、丈夫に育てる。

◇アブラムシ対策3 天敵を利用する。天敵はテントウムシとクサカゲロウ。

テントウムシの幼虫は20匹/1日、成虫は100匹/1日のアブラムシを食べる。

クサカゲロウの幼虫は(幼虫の期間は10日程)10日で約600匹を食べる。

*テントウムシやクサカゲロウが居れば、多少のアブラムシは大丈夫。

生き物のつながり不思議です。互いに補完し合って命をつないでいます。人間もその中の1つですね。

冬の体力維持



暖かい時間帯に、少しは外の風にあたりましょう！



テントウムシの幼虫



クサカゲロウの幼虫



幼虫を害虫と間違えて殺さないで！！

農園利用希望の方へ……農園の空き情報のお知らせ

<問合せ先> 島本町農業振興団体協議会・町民農園部会
(福田) fukuda-ka@amail.plala.or.jp

(;^ω^;) 失敗は宝

うまく出来たことは意外と忘れるものです。反対に、失敗は悔しさと共に記憶に残るので、失敗からいろいろ学べます。失敗大歓迎！
レベルアップの鍵は失敗にあり

経験談

(Yさん)



別の畑に移りました。夏野菜は、坊ちゃんカボチャは美味しく出来ましたけどトウモロコシはたくさん育てましたが、採り時を逸したのか実がシワシワになってしまい、思うようにいかなかったです。冬の大根は良く出来ました。畑(土)が違くと全くちがう。まだ特徴がつかめず試行錯誤、それも楽しいです。

(Hさん)

今年初めてのトライとしてスクナ(宿儺)カボチャを作ってみた。昨年友人からひょうたんに似た実をもらい、美味しかったので種を取っておいて、4月に1粒撒いた。非常に元気なカボチャで、ヘチマ用の棚に見る間に這い上がり、ヘチマを圧倒して8月中繁茂した。しかし、受粉しても実付きは悪く結局2kg程が4個の収穫に終わった。この名は、成長の割には収穫が『少な』カボチャではなからうかと。本当は、飛騨高山が原産地で、同地の頭が二つある鬼神「両面宿儺」から来た名前らしい。

(Sさん)

11月初旬に苗植えた水菜は今年は大根ハムシの被害もほとんどなく、それなりに出来ています。地温を高めるにはどうしたらよいか、ハウレンソウはビニールトンネルをしました(種まき後2週間ほどで発芽してきました)。発芽した葉物野菜については、根元に使用済みコーヒーフィルターを拡げ、その廻りに太陽光を吸収するのではとの思いで堆肥を置いておきました。果たして。

(Fさん)

キャベツ、ブロッコリーは元肥が多いと肥料負けする？ 元肥をうねを割ってバーク堆肥、油粕、化成肥料を埋め込み、3週間後にキャベツの苗を植え付けた。日数がたつにつれてどんどん苗がだめになっていった。抜いてみると根が溶けていた。夏野菜のナス、キュウリの時はこの方法で、勢いのある立派な木が育ち長たくさんの実を着けた。やはり、野菜によって肥料の与え方は変えなければいけない。(-“”-) キャベツ、ブロッコリーの元肥はうね全体に良く混ぜ込んだ方が良いように思われる。

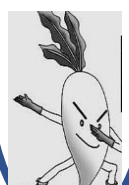
映画「百姓の百の声」を見ての感想

(Nさん)百戦錬磨のプロ「百姓」さんでさえ毎年新たに考えて工夫をされている様子、そして『観察力』、学ぶ事が多かったです。私ももう少し土や野菜との対話を増やさねば。

(Fさん)登場する百姓とは作る野菜の規模が違いますが、「大切なのは観察力」ということは私たち家庭菜園と共通なのだと改めて思いました。百姓国は家庭菜園の私たちと意外に近かったです。家庭菜園も自分の野菜だけでなく、多くの人の野菜を自分と比較しながら継続して観察すると、きっと多くのことが見えてきます。映画製作に協力されていた農文協の地道な活動、素晴らしいと思いました。

(Sさん)農家の皆さんの観察力、包容力、分析力、こんなにも汲めども汲めどもエネルギーが溢れてくる人達の姿を目の当たりにして感嘆の一言でした。どんな逆境にも忍耐強く立ち向かい、そして何でも楽しんで挑戦される姿に私も畑に携わるひとりとして触発を受けました。私の畑は小さな畑ですが、まずはよく観察をすることから始めていきたいと思えます。

旬の1品



大根スライスの煮物 1, 大根300g をピーラーでスライスする。2, 鍋にだしと調味料【水300cc、醤油大2, 砂糖小2, 生姜みじん切り, 塩少々】を入れ、鶏もも肉200g、あげ(油だし・短冊切り)大 1/2、大根葉のみじん切りを入れ煮る。3, 煮あがったら塩で味を調べ、ネギを散らす。

#1月の大根は甘くて瑞々しく体も温めてくれます。寒い冬にぴったりの食材ですね。スマートなものより、先まで太いものが良く成熟しています。